

アクティオの林業専用新型機種 「アームロール車」、「ショートアームプロセッサ」が登場

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人)は、林業専用の新型ダンプカー「アームロール車^{*1}」と新型「ショートアームプロセッサ^{*2}」を2017年12月1日(金)から全国のアクティオ営業所でレンタルを開始いたします。

3F3t スタンションアームロールダンプ



■新型ダンプカー「アームロール車」～林業の車両問題を解決～

現在、林業の現場では、車両を使って木材を運搬する際に、いくつかの問題点が顕在化しています。

通常、伐採した木材などをフォワードと呼ばれるクローラー^{*3}(履帯)タイプの重機を使い山林からの搬出作業を行っていますが、車両スピードが遅いためスムーズな運搬が出来ないという問題がありました。さらに、近年、急速に広がりつつある木質バイオマス発電^{*4}所用の林地残材と呼ばれる端材を回収し、現場からそのまま収集場所に素早く運搬したいといったような様々な要望ができています。



また、ダンプやトラックを使っての運搬の場合、車体の両側に鉄柱を立てただけの簡易な車両で木材を運搬するというのが一般的に行われており、安全面において危惧する声も多く聞かれていました。

今回、アクティオから、このような問題を解決するために開発された、安全で効率的な新型車両が登場します。

■新型ダンプカー「アームロール車」の特長

- ①フォワーダに代わる走行速度が速いトラック搬出型作業車両
- ②ベースとなる3トントラック1台で用途の違う3種類の荷台を使用することが可能
 - ・フラットデッキコンテナ／木材運搬用：フラットな荷台にスタンションと呼ばれる受け柱を設置
 - ・深箱コンテナ／林材運搬用：煽りの深い鉄箱で、後方の観音開きが可能
 - ・土砂コンテナ／土砂運搬用：通常のダンプ車と同様の荷台
- ③山道（作業道）を整備する際の土砂や砕石などの運搬を車両交換することなく、荷台のみの変更で作業が可能
- ④4WDでリアのサスペンションを強化、ディファレンシャル（デフ・差動装置）は低速ギヤに変更
- ⑤フラットデッキコンテナは、3トントラックベースのアームロール車でありながら、3,000mmの荷台長さを確保
- ⑥フラットデッキコンテナで丸太を運ぶ際に荷台の不安定解消のため、フロントにロック機構を設け、跳ね上がりを防止、さらに、荷台のよれを防止するローリングストップを設置
- ⑦荷掛けフック等を床面に格納することで出っ張りがない仕様
- ⑧キャビンと荷台部の隙間を15cm程短縮

ショートアーム仕様 0.45プロセッサ／SK135SR-3F



■新型「ショートアームプロセッサ」～高度な作業を安全に～

新型「ショートアームプロセッサ」は、13トクラスのサイズでありながら20トクラスにより近い性能をもった高性能林業機械です。通常このサイズには「GP-35V*⁵」という型式のアタッチメントを取りつけますが、ワンランク上の「GP-45V*⁵」アタッチメントを使用することが可能です。

いままで大きいサイズのアタッチメントを取りつける場合は、重量が重くなり、機械操作が不安定になってしまうという問題がありました。今回の新型「ショートアームプロセッサ」は、アーム部分をショート仕様にし、さらにセカンドアーム部分も同様に特別なショート仕様にする事で、最長作業可能位置を短くし安定性を確保しました。これまで大径木と呼ばれる太く成長した木材を造材*⁶するのは、大型サイズのプロセッサに限定されていましたが「GP-45V」アタッチメントを取り付けることで、より太い木材を安全に造材できるようになりました。

■新型「ショートアームプロセッサ」の特長

- ① 13 トンクラスのサイズでありながら 20 トンクラスにより近い性能
- ② ワンランク上の「GP-45V」アタッチメントの取り付けが可能
- ③ アーム部分をショート仕様(メーカーオプション有)、また、トラック積込用のセカンドアーム部分もショート仕様(特別製作)にし、機械重心から最長作業可能位置を短くする事で安定性を確保
最大リーチ：スタンダード 8.38m⇒ショート仕様 7.64m(▲0.74m)
- ④ 車両サイズが、13 トンクラスであるため、山道(作業道)を新たに広げなくても作業現場へのアクセスが可能

*¹アームロール車：荷台が分離できるアーム式脱着装置付のコンテナシステム車

*²プロセッサ：切り倒した樹木の枝を払って一定に切りそろえることができる高性能林業機械

*³クローラー：履帯金属・ゴム製の帯を車輪で動作して走行する不整地走破用走行装置の一種

*⁴木質バイオマス発電：製材端材や木質チップを燃焼させタービンを回して発電する仕組み

*⁵ GP-35V /GP-45V：機械のアーム先端に装着するアタッチメント。サイズを教えてください←下記概要に記載

*⁶ 造材：切り倒した木の枝をはらい一定の長さに切り揃える作業

なお、今回の新機種は、11月19日(日)、20日(月)に開催される第41回全国育樹祭記念行事「2017 森林・林業・環境機械・展示実演会」(主催：香川県、一般社団法人 林業機械化協会、会場：香川県坂出市「番の州臨海工業団地の県有地」)へ出展いたします。

■新型ダンプカー「アームロール車」概要

呼称	3F3t スタンションアームロールダンプ	
積載荷重(コンテナ重量含む)(kg)	3,000	
乗車定員(人)	3	
燃料	軽油	
燃料タンク容量(ℓ)	100	
寸法(mm)	全長	5,030
	全幅	1,890
	全高	2,240
	荷台長 L1	3,000
	荷台幅 W1	1,880
	荷台高さ H1	1,150
	床面地上高 H2	1,090
	ダンプアップ高 H3	3,600
車両重量(kg)	3,850	
車両総重量(kg)	6,265	

■新型「ショートアームプロセッサ」概要

呼称(m ³)	0.45		
新JIS表示(m ³)	0.5		
ベース機メーカー	コベルコ		
ベース機械式	SK135SR-3F		
プロセッサ	メーカー	イワフジ工業	
	型式	GP-45V	(※参考比較) GP-35V
	最大開口幅(mm)	1,130	1,045

	送材方式	2ローラ式	2ローラ式
	枝払い可能材径 (mm)	30~450	30~420
	最大切断直径	600	530
	枝払いナイフ数	3枚移動刃式	3枚移動刃式
	旋回角度	360°有限旋回	360°有限旋回
	質量	1,200	980
燃料タンク容量 (ℓ)		200	
寸法 (mm)	全長	7,950	
	全幅	2,490	
	全高	2,960	
質量 (kg)		16,180	

■製品名

3F3t スタンションアームロールダンプ
 ショートアーム仕様 0.45 プロセッサ/SK135SR-3F

■レンタル開始予定日

2017年12月1日 (金)

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。

現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門

的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

■本リリースに関するお問い合わせ先

アクティオ広報事務局（共同ピーアール株式会社内） 担当：菊地、横山、吉田

TEL:03-3571-5238 FAX:03-3571-5380 e-mail : aktio-pr@kyodo-pr.co.jp